

教学 IR 室 広報誌 *Bloomin'*



2025年4月4日 フレッシュマンキャンプ「つながる Day」 in 中津川キャンパス



2025
Jun.30
Vol.9

スペシャルゲスト☆ 文字職人 杉浦誠司さんによる圧巻のパフォーマンス
「明」から浮かび上がる文字（ひらがな）は…？答え：最終ページ

新体制のご挨拶

2025年度より教学IR室室長を務めております大須賀元彦です。

2021年度より実動化した教学IR室では教職協働の下、教育の質保証や大学の意思決定に資する分析を行っています。その一例として、原則毎月のIR室レポートの作成と公開、教職員座談会、他大学との合同IR研修会、学内教学IR研修会、学内広報誌の作成に取り組んでいます。

2025年度の新たな目標として大学のブランディングに貢献できるよう、今まで以上に分析を進めて参りますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



教学IR室長 大須賀 元彦

つながるフレッシュマンキャンプ Day

2025年4月4日、晴れ渡る空の中、2日前に入学式を終えたばかりの全学部の新入生が中津川キャンパスに集結。アイスブレイク「漢字一文字」、体育館を日本地図に見立てた「出身地を知ろう」、学部毎のカラーが出た学部対抗歌合戦♪ 昼食後はスペシャルイベント(表紙写真)、周遊型ワークと続き、最後は中京学院大学クイズで大盛り上がり。

教職員が見守る中、実行委員として活躍した学生達はもちろん、新入生のイキイキとした表情が印象的な一日となりました。



血圧の単位はdL? mmHg? μ g?



今の気持ちを漢字一文字で表すと・・・?



♪ダイナミックな指揮で奏でるハーモニー



自然豊かなキャンパスで謎解きゲーム

教員インタビュー



看護学部 助手 島原ほのか先生

専門分野：公衆衛生領域

本学の卒業生でもある島原先生は、保健師のお仕事を経て2021年に本学に着任されました。今年4月に行われたフレッシュマンキャンプでは、運営側として積極的に取り組み、その姿はとても神々しかったです。

◇フレッシュマンキャンプを通じて感じたこと

今年の1年生は「つながるday」をきっかけに他学部の学生とも親睦を深め、その後も関係が続いている人達も見受けられうまくいって嬉しかったです。自分の学生時代はキャンパス内も学部内の交流もなかったことと、学祭等にも興味がなく参加していなかったため、今こうして教員として様々な行事運営等に関わることで、学生時代に経験しておけばよかったと思っています。学生達には勉強だけでなく視野を広げ、様々な機会に自らとびこみ楽しんでほしいです。

◇本学の思い出

入学時は大学生活への憧れがあったわけでもなく、資格取得という目標に向かって頑張る!という一点だったので、入学してみると小規模のメリットなのか友人もできやすく優しい仲間にも恵まれ、勉強に集中できる環境がとても心地良かったです。実習では、それまでの友人とは別の新たな仲間とも親しくなり、空きコマも話をするなど誰とでも仲良くできたことがよかったです。また、ボランティアのイベントに参加することで先生との距離も縮まり、一緒に食事をしたことも良い思い出として残っています。

◇学生へのmessage

保健師の仕事は、病院のお世話になる前の未然防止や普段の生活をフォローできることから、多くの人にこの仕事の魅力を知ってほしいです。だからこそ、学生達には本学で取得できることをもっと大切にほしいと強く願っています!!

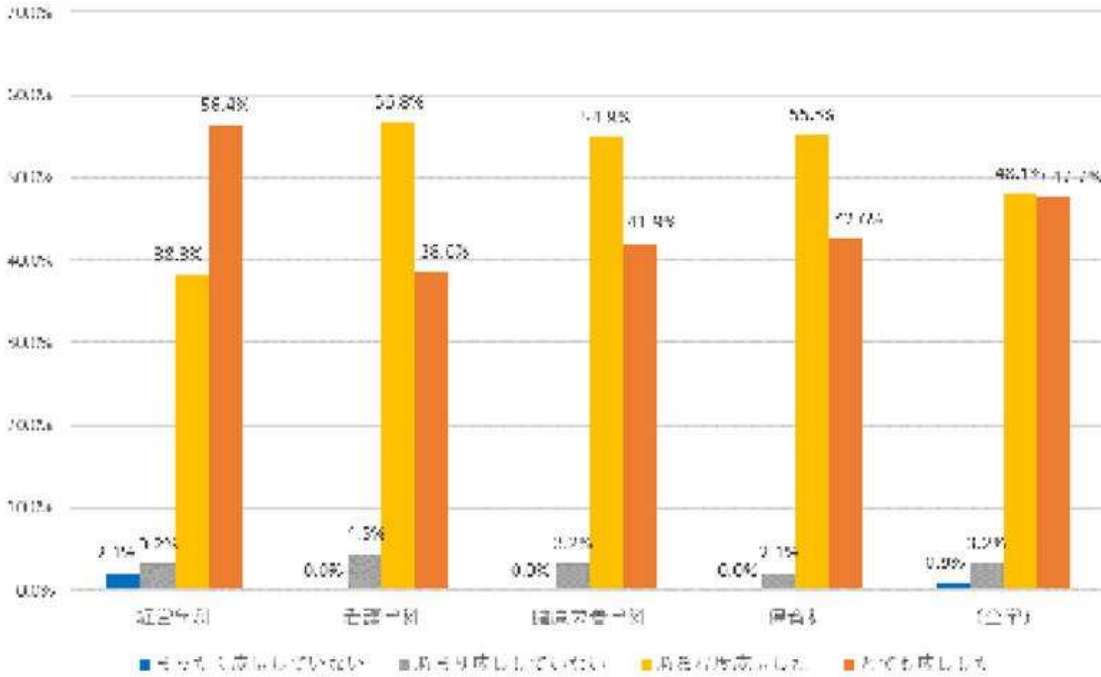




推奨度＝成長実感？

IR室第40回レポートのテーマは、「推奨傾向の視点から見る2024年度卒業時アンケート」です。

この卒業時アンケート分析は、旧IR室が実施した2021年度から継続して分析しています。特に、「あなたの後輩が進学先を検討していたら、あなたは本学を勧めますか」というアンケート項目において、「推奨度（肯定的意見の割合－否定的な意見の割合）」、「推奨傾向」には注視してきました（教学目標になっています）。この推奨傾向と相関関係のある項目は、まだ探し出すことはできていませんが、継続して教学改善の手がかりを探していく決意です。



【IR室第40回レポート、p15より】

第2回教学 IR 室座談会より抜粋

「第40回レポート 推奨傾向の視点から見る2024年度卒業時アンケート」を配信、その内容をもとに座談会を開催しました。同座談会の参加者から以下の意見がでてきました。

- ・（卒業生からの）プラスの意見は教員のモチベーションにつながり、時間をかけて（学生と接して）きたことはよかったと感じた。
- ・留学生についてはサポート体制をしっかり行うことで後輩への推奨につながるため引き続き行っていく。
- ・学生の成功体験、成長・満足度の要因の分析も行うとよい。
- ・アンケートの回答で「卒論をがんばった」等の抽象的な記述が散見されるため、本質を捉えることのできるアンケート設計の見直しも必要かもしれない。
- ・入学理由と卒業時の推奨理由は一致しているか調査する必要性もある？
- ・看護学部の「薦める」は国試対策を経て資格取得できたこと。
- ・教員との距離の近さについては、授業の出欠状況だけでなくプラスの部分の共有もするとよい。
- ・アンケート内容に関しては、教育面に限定した分析もよいかもしれない。・・・等。



Opinion

キラッと光る★文武不岐学生コーナー

わたなべ りお
経営学部4年 渡邊 梨央さん
(女子ソフトボール部所属、岐阜女子高校出身)



- ◆入学したきっかけ
入学前に参加したソフトボール体験での明るい雰囲気と、気さくで優しい先輩方に惹かれ入学を決めた。現在はキャプテンとして、またキャッチャーとして西日本大学選手権大会、秋季東海リーグ戦に向け奮闘中。
- ◆学業との両立について
授業への出席は当然のこととして単位修得に励んできた。卒論のテーマは「救急車の出動に対する問題点」、現在関係資料やアンケートをとる等しながら執筆を進めている。

◆クラブでの思い出

チームの雰囲気がとても良く、試合外でもワンプレーを皆で喜びエラーを出しても励まし合うなど、チームメイトに恵まれていた。

◆この4年間で成長したこと

コミュニケーションをとることが苦手だったが、クラブの先輩の影響もあり相手の為にできることは何かを考え行動するようになった。

オープンキャンパスやレクアスエンジョイフェスティバル等の行事で、人前で話す機会を与えてもらったおかげで今では抵抗なくできるようになった。また、様々なことを教職員に相談すると寄り添ってくれたことが大きかった。

◆ストレス発散方法

トレーニング。自分に向き合うことができる時間となり、そこでリセットしている。甘いものには目がなくチョコレートは断然ミルク派 🍫

今回、このインタビューに快く応じてくれた渡邊さん。マンツーマン形式は入学当初であれば断っていたかもしれない・・・と言われ、その成長ぶりに嬉しく思いました♡

令和7年度 高大連携講座 START

中京学院大学周辺地域の高校生を対象とした「令和7年度高大連携講座」が、5月13日に開始されました。

経営学部は「経営学の理論と実践～地域資源再開発プロジェクト～」で受講者34名、看護学科では「看護学入門」受講者20名、保育科は「保育学入門～保育現場で活躍する保育科卒業生との対話に学ぶ～」受講者11名で開講しました。

ひと・まちテラス(中津川市)の開講式では、高校生のみなさんの少し緊張した、目のきらきらと輝いている姿を見ることができました。12月の閉講式まで、高校生のみなさんが多くの学びを得られるよう、また本学の学びの良さを知ってもらうことができるようにと、取り組んでいます。

経営学部 高大連携講座
担当講師 祝田学・熊本淳



経営学部長による授業の様子

Information

- *2025.3.31 IR室レポート第4巻発刊
- *2025.4.2 令和7年度入学式
- *2025.4.4 フレッシュマンキャンプつながるDay
- *2025.6.27 令和7年度第1回 学長ワークショップ(まつり実行委員、イベントプロデュースメンバー)
テーマ:学生が出席したい価値ある授業とは?その創意工夫とは?
- *2025.7.17 令和7年度自己点検評価報告会
- *2025.8.20 全学SD研修(教学IR研修)
- *2025.9. 合同IR研修会 in 文京学院大学(ハイブリッド開催)
- *2025.9.6 プレゼンテーション大会『彩イロドリ』

教学IR広報誌 Bloomin'について
(Vol.9)



Bloomin'とは?

種を蒔き、芽が出て膨らみ花開くように、
教学IR室の様々な発信が本学の発展に
つながるよう願いをこめてつけました。

いんせ: ぎぎの辨筆

編集・発行



中京学院大学

教学IR室 広報誌 Bloomin'

第9号 2025年6月30日発行

〒509-9195 岐阜県中津川市千旦林1-104

TEL: (0573)66-3121

URL: <https://www.chukyogakuin-u.ac.jp/>

E-mail: ir-room@chukyogakuin-u.ac.jp